

〔海況概要〕

今週の本県近海の表面水温は、17～21℃台を示し、やや高い～かなり高い水温でした。

〔漁況概要〕

- 中小型まき網——月夜間とシケのため出漁日数が少なかった。西彼地区では、カタクチイワシなどが1日1統当たり11トンの水揚げで、前週の2.8倍（前年を上回った）。五島奈留地区では、マアジなどが1日1統当たり2トンの水揚げ（前年を下回った）。北松南部地区では、マアジなどが1日1統当たり8トンの水揚げで、前週の80%（前年を下回った）。
- イカ釣——スルメイカは、対馬東岸地区では1日1統当たり2kgの水揚げで、前週を下回った（前年を下回った）。壱岐勝本地区では、1日当たり70kgの水揚げで、前週の6%（前年を下回った）。ケンサキイカは、対馬東岸地区では1日1統当たり22kgの水揚げで、前週並み（前年を下回った）。壱岐勝本地区では、1日当たり25kgの水揚げで、前週の6%（前年を下回った）。五島奈留地区では、1日1統当たり22kgの水揚げで、前週の1.4倍（前年を上回った）。
- 定置網——五島魚目地区では、ブリなどが1日1統当たり153kgの水揚げ。北松生月地区では、スルメイカなどが1日1統当たり773kgの水揚げ。対馬西岸地区では、マアジなどが1日1統当たり518kgの水揚げ。対馬東岸地区では、ケンサキなどが1日1統当たり240kgの水揚げ。
- 一本釣——北松宇久地区では、イサキが1日当たり323kgの水揚げで、前週の1.7倍（前年を下回った）。

〔日本海スルメイカ情報〕

今期（5/15日～5/20日の6日間）沖合イカ釣り船、船凍船は切揚げ休漁となった。

沿岸イカ釣り（氷蔵船）は、壱岐・対馬及び山口沖～隠岐海峡～鳥取沖～兵庫沖～能登半島にかけて出漁した。

鳥取県漁協境港支所 2日延2隻、総計22箱、1航海最高18箱、平均11箱、スルメ（30入）15箱、ケンサキ（4立・入合）7箱の混獲となった。

（漁業情報サービスセンターより）

〔お知らせ〕

漁海況通信「第31-14号 4月に実施した壱岐水道・対馬東水道の観測結果」を長崎県庁ホームページに掲載しています。

長崎県庁ホームページ

「地方機関 総合水産試験場」の「漁海況情報」から漁海況週報や漁海況通信をご覧いただけます。

<https://www.pref.nagasaki.jp/section/suisan-shiken/index.html>